



McAfee® Endpoint Securityへのアップグレードは簡単です

ご存知ですか。McAfee VirusScan Enterpriseでは、最新のエンドポイント保護技術を利用できません。McAfee Endpoint Security にアップグレードしましょう。すでにご利用のお客様は無料でアップグレードできます。

複雑な作業を想像していませんか。移行は意外と簡単です。手順は次のとおりです。



ステップ 1: 移行を計画する

McAfee の Endpoint Upgrade Assistant (EUA) ツールが環境を自動的に分析します。ePO 環境のエンドポイントを確認し、インストール済みの McAfee 製品を検出します。さらに、McAfee Endpoint Security の最新バージョンへのアップグレードに必要な最小要件を特定します。環境内のエンドポイントの対応状況をレポートで確認することもできます。

既存のポリシーや設定もエンドポイント移行アシスタントで自動的に移行できます。また、手動で移行することも可能です。



ステップ 2: 新しいエンドポイント セキュリティを配備する

EUA ツールは、McAfee® ePolicy Orchestrator® (McAfee® ePO™) でアップグレード可能なエンドポイントにタグを付けます。これにより、同じアップグレード手順（アップグレード シナリオ）のエンドポイントをまとめて更新することができます。EUA の自動アップグレード機能が、アップグレードに必要なすべての製品を含むカスタム パッケージを作成します。製品ごとに異なるアップグレード タスクを実行することもできます。

本稼働環境でない環境で McAfee ソリューションのインストール、設定、アップグレード、検証を行います。検証テストで McAfee 製品が正常に機能し、アクティビティのブロック / 監視、ログ / イベントの生成を行っていることを確認します。検査の結果は、クライアント システムまたは McAfee® ePO™ コンソールで確認できます。準備ができれば、本稼働環境で McAfee ソリューションのインストール、設定、アップグレード、検証を行います。



ステップ 3: 新しいエンドポイント セキュリティを最適化する

単体製品を組み合わせる必要はありません。統合されたセキュリティ機能を利用できます。手動の操作は不要です。従来のようなソフトウェアの更新も必要ありません。McAfee の制御ファブリックがインフラ全体のセキュリティを管理します。

アップグレードの詳細は、mcafee.com/MoveToENSをご覧ください。

